



景観を活かしたイベントを開催 「こうげ大池 灯りの祭典」 「上毛町キッチンカーフェス」

暖かな竹灯籠の灯りと15万球のイルミネーションの輝きが大池を囲む「こうげ大池 灯りの祭典」や、ランチグルメなどのさまざまなキッチンカーが集う「上毛町キッチンカーフェス」など、大池公園を楽しめる取組みを進めており、広く町内外の交流拠点となっています。



バリアフリー化された遊歩道は、大池公園の景観を最大限に活かすため、ボードデッキの設置や景観を損なわない転落防止柵、利用者の憩いの場とするための親水テラスなど、デザインに配慮した整備を行ったことで、散歩やランニングに訪れる利用者が年々増えています。



恒久平和の願いを未来へつなぐ 平和の架け橋事業

上毛町は、平成19年8月6日に「核兵器廃絶恒久平和の町」宣言を行いました。また、被爆地ではない「第三の平和拠点」として令和元年9月21日に「広島・長崎爆心地中間点上毛町-未来へつなぐ平和の架け橋事業」を発足し、恒久平和への願いを、広島と長崎の爆心地を直線で結ぶ中間点に位置する上毛町から未来へつないでいくことを目的に実施しています。

国際 交流



▲姉妹校提携を締結しているチュラロンコン大学附属小学校訪問の様子

少年海外体験学習事業 「バンコク友好の翼」

国際的な視野と異なる言語や文化に触れる異文化体験を通して国際人を育成することを目的として、本事業を実施しています。7日間の海外研修ではタイ王国バンコク都にあるチュラロンコン大学附属小学校児童との交流やホームステイ、企業訪問など、タイの生活文化を体験。また、訪日事業としてチュラロンコン大学附属小学校が訪日し、町内小学校との学校交流や植樹会を行うなど友好を深めています。

移住 定住



▲東京から移住し、古民家をリフォームした南里さんご夫妻

九州一住みたくなるまちへ 充実した支援制度あり！

上毛町は豊かな自然資源と中津市街に近接する立地条件から、都市としての利便性を享受できる恵まれた住環境にあります。本町では、「上毛町人口ビジョン」、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、住民と行政の協働により多様な移住・定住促進施策や町外流出対策を展開しています。

創業 支援



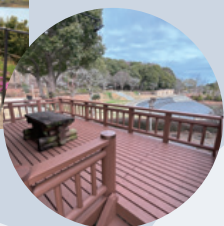
▲上毛町空き家バンクを活用、上毛町商工会のサポートを受け、そば処 白水をオープン

起業・就農へ向けた 頼もしいサポートあり！

町内で創業する方を対象に、改修工事費や備品購入費など創業に係る費用を助成する「上毛町創業促進支援事業助成金」の受付を行っています。また、本格的に農業を始めたい方には、49歳以下の新規就農者を対象とした就農支援として、最長3年間の補助金があります。

大池公園

豊かな自然を満喫できる場所



ループアリーナで、はじめよう。 運動習慣、はじめの一歩

バレーボールやバスケットボールのコートが2面取れる広さで公式競技会をはじめ、各種大会に対応したメインアリーナや、バレーボールコートが1面取れる広さのサブアリーナ、トレーニングルームがあります。



上毛町立体育館
KOGELoop
ARENA
ループアリーナ

多様な交流を促進する今までにない8の字形の平面が特徴の体育館が誕生しました。その名も「ループアリーナ」。風景に溶け込むようなモスグリーンの建物は、鉄筋コンクリート造・鉄骨造の地上2階建て、延床面積は約4400㎡です。メインとサブの2つのアリーナを緩やかに周遊できる∞型スロープでつなぎ、出会いと交流が生まれる空間をつくっています。建物内部にランニングコース、外部には緩やかな階段を設けています。定住人口増加につなげる他、町民の生涯スポーツを推進する場として親しまれ町のシンボルとなるコミュニティ型体育館がスタートしました。

●上毛町安雲852 ☎0979-84-9418



2階には飲食ができるだけでなく、地域住民の集いや対話の場としても活用できるラウンジや、会議室・研修室、キッズスペースがあります。

サステイナブルな発展の核
人と人をつなぐ
コミュニティ型体育館

上毛町サテライトオフィス

THE THINK FACTORY, KOGE

創造と交流を生みだす地域活性化の拠点

レストランの運営とビールの醸造を行っていた旧大平麦酒館をサテライトオフィスに改修し、2024年4月にオープン。施設内は全館フリーWi-Fiが整備されており、個人利用者向けの「固定席エリア」や「フリーデスクエリア」、企業向けの「オフィスルーム」も用意されています。共用のラウンジやキッチンでは、利用者同士が交流を深める中で、上毛町の活性化につながる“新しいアイデアがひらめく”環境を提供しています。



●上毛町下唐原1649-1 ☎0979-53-8100

